



# 明正ゼミナールだより

— 1月号 —

2024年

2020年度より小学校で英語の授業が行われるようになりました。文科省の考えはと言いますと、中学校で3年、高校で3年、大学で4年の計10年も英語を学んでいるのに、一向に英会話のできない生徒が多いのではないかと。ライティングはできるのにスピーキングができないのでは、英語を学んでいる意味がないのではないかと。文法を意識するあまり、間違いを恐れて会話がたどたどしくなってしまうのであれば、文法的に少しおかしくてもいいから会話できる方がいい、という考えのようであります。そのために、小学校では文法の説明があまりなされないままに授業が進み、中学校で文法を学ぶ時には頭が混乱している生徒が多いように思われます。その証拠に英語が嫌いという生徒の多いこと多いこと。以前は、特に女子生徒からは英語が好きという声が多かったのですが、国の思惑と反対になっています。中学校になっても学校で使用する英語のテキストは最悪で、中一のスタートがbe動詞と一般動詞が同時、その疑問文と否定文、次にはcanの助動詞、そして、what, who, where, when と how の疑問文、一般動詞の過去形、現在進行形に不定詞、不規則動詞の過去形と、今まで中2、中3でやっていた範囲が中1に入り込んでいます。順番の変動はいいのですが、文法が生徒に定着していないのではないかという現状を危惧するのであります。新年から国の政策を批判したくないのですが、第一言語である日本語は、他の外国語と文の構成が違いすぎているため、英語を会話から感覚的にマスターするのは困難なのだと感じます。やはり文法の説明は必要だと思っています。いま使用しているテキストは文法をマスターするのによく考えられた内容だったと思いますが、そんなことをボヤいても仕方ありません。生徒たちのことを考えて、よりよいテキストはないかと探し続け、ようやく私の希望にかなうものを発見いたしましたので、[新年度より文法中心の問題集から学校準拠のテキストに変更いたします。ユニットごとの文法をマスターしてから本文に進むというもので、文法をおろそかにすることなく英語を学ぶことができます。少し分厚くなりますが、書き込みやすくなっていますので、安心してください。また、数学も新しいテキストに変更します。今までより計算や図を書く余白が広く、難易度は少し高めのものとしたしました。](#)

さあ、今年も一年、分かりやすく楽しい授業を行ってまいりましょうか。  
本年もよろしくお願いいたします。

## 【漢字検定】

2024年1月20日(土)

時間 16:00 場所 RoomA



## 【英語検定】

2024年1月21日(日)

時間 準2級 10:20 / 4級 10:30  
2級 14:10 / 3・5級 14:40

